

特240

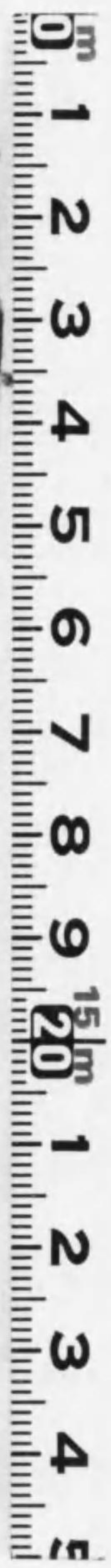
911

軍総司令部経済科学局労働課編

# 民主的労働組合運動

## 附録資料

- 一、米國の労働組合運動・特に地方組合の構造  
(労働課教育班長) リチャード・デヴエラル氏
- 二、実情に即した日本の労働組合の發達へ  
(労働課々長) シエームス・S・キレン氏
- 三、健全なる労働契約と調停委員会の活用  
(労働課顧問) ジョン・ポーランド師



# 始













て経済的に破壊的な力ともなることがある。

おぼろしいはいつて、組合運動が限りやすい大きな弊害が二つある。これを避けるためには、一般組合大衆が先ずそのことをハッキリ理解しなければならぬ。米國の労働運動の経験からいつても、これらの弊害は多くの場合一般組合大衆のあいだに民主的な労働組合主義をいつて何も知らぬものや、デモンストレーションをもたないものが多い場合に起きつて起つてゐることは注目して見る。労働組合主義の陥りやすい弊害をいつて一般組合大衆がよく理解してゐる組合では、このような弊害はあつて起らない。一般組合大衆がよく理解してゐない場合や、自分たちの組合にいつて興味をもたない場合には、弊害は時として大きくはびこるものである。

### 組合荒し

二つの弊害とは、組合荒し(レイバー・ラケティアマリソング)の二つの型を指してゐる。ラケティーマ (Racketeer) とは、米國の俗語であつて自分のポケットを充すために労働組合を食物にする人の性格をあらわす。

組合荒しの二つの型は、同じ手段に育つものである。即ち一般組合大衆の無知と興味のないことである。

二つの型はとも非民主的な手続きと腐敗によつて生れ、競争的な一般組合大衆の組合をクラシーの前にはハナハナに壊れてしまふ。

第一の型は金銭めあての組合荒しであり、第二の型は権力めあての組合荒しである。

してある。

### 金銭めあての組合荒し

かりに千名の従業員をもつ工場で労働組合をつくることを問題にして、大部分の従業員は労働組合主義の意味がよくわかつていないが、労働条件をよくすることに熱心なをいっている。

さらにその時一人または小さなグループが、組合を一種のヤミ市だと考えたとする、つまりたいして働かずに金をもよめることが出来ると思つたとする。組合が出来ると、この連中はまづ創立大会に顔を出して大体の見当をつけ

る。連中の一人は多分悪党かヤミ屋である。彼は一夜友達を招いていろいろ

「この新しい組合はひどく好い考えた。もしわたくしが組合の幹部になれば、キツト大あけが出来ると思つたが、都合のわるいことには組合は正直な人を会長に選挙したばかりだ。そこでまづこの会長を逮捕し計画をたて

る。連中もつかぬ難申どものデモクラシー談話をたゞき讀してしまわなければならぬ」

そこで組合荒しの二つは計画をすゝめるために腐敗した組合を始める。この小さいグループの秘密会合はコーカスまたは徒党的指導者達の会合と

### 党派秘密会(コーカス)(caucus)

らせる意味である。しばしば、こゝろい腐敗な策略が成功して、正直で腐敗な組合の指導者が失脚するものである。そして彼を失脚させた連中がこんどはデモクラシーを看板にして、かれらいつてかわる。このよつて組合はなれりのお配下をなつてしまふ。

れる。コーカスは組合の会合の前に開かれ、そこで計画、つまり陰謀の筋書が出来上る。そしてコーカスに参加したものはそれぞれ任務を與えられる。コーカスが次の組合会合で会長の人身攻撃をやることに決めたとする。それに基づいて、メンバーのAはこれ、Bはあれとそれぞれ手配がきめられる。かゝつて会合が開かれる。組合員たちは何時もの組合の問題を討議するつもりで集り、別に計画もなく、コーカスの陰謀については勿論何も知りな

やがてメンバーのAが立ち上つて、眞の組合指導者の態度をいつて短気な態度をやる。するとBがまた起つて、自分たちの会長は不誠實であり、不正直であると述べる。するとCも起つて同じ態度の演説をやる。そのころになれば、組合員のおだたきももきか起る。そこで会長は一体どうしたことをかたはなつてしまふ。

この時グループの首領Dが起つて、「会長をもちよせよかやめよせよせよかやめよせよ」と叫ぶ。

組合員たちのあだだも、「いふも臭い。会長をそんな不正直な、だつてのなすは知らなかつた」といふ言がかわる。

政治的にも討論されたらならぬ、コーカスのしくりいどをそのまゝワソミに言いつてしまふがよいである。

こゝろいやり方を米國では組合員のレールロードインダ、(Rail Road-Ins)...鉄道建設の部)と呼んでゐる。つまりコーカスが即ち秘密にレールを敷いて、組合員たちをこのレールにのせて、自分の思つたとおりに走

あしかれらが組合大衆をレールロードでまなかつた場合、次にうつ手は暴力を用いて、ヤミ夜に人集のない場所まで会長を待伏せて襲つてやる。会長は負傷のため病院に担ぎこまれ、かれの不在中に悪徳連たちがいつてかわるやうなわけである。

### 暴力團

もう二つ別な方法は、暴力團を組合の会議の席上に取りこませることである。コーカスのメンバーであるAがまづ議論をはじめ。するとメンバーのBが組合会議の議長にたつて挑発的な行動に出る。それをきつかけに暴力團が一せいに暴れ出して、会議は收拾がつかなくなつてしまふ。

一般の組合員はコーカスをひらいてゐるとは知らなからどろろにうしろやへ。「うんてであらうな。もう二度とこんな会議には出席したくない」

このよつた暴力やテロの手段により又は指導者をコーカスの配下のギャンブルが毎日負担することによつて悪徳連たちは暴力團を利用して組合をモク



シーを渡すといふが、

### 金儲け

労働者たちは、いつたん組合の実権を握ると、ただちに自分たちの利益のために、組合員を食物にする方法を見つけたものである。かれらは会社との交渉のさい、社長のとてろへいつて、たとえは「こういふだろ、」従業員たちは毎月多額の手当を貰わぬかぎり、ストライキをやろうとしていたが、もしあなたがわれわれに二万円提供するならば、半額の手当支給で片付けてみせる。われわれと内緒で話をつける氣がおありならば、ストライキは固執しないでせう」

不正な債主はこうして圧力を用いて金を拂うかも知れない。組合員はダラカンの指導者に裏切られ、ダラカンたちはその不浄金で何処か温泉にでも出掛けてしまふ。

ストライキを前にしたもう一つのやり方は「ストライキ保険」を売りつけることである。ダラカンたちは債主のところへこういふ話をもちかける、「組合大衆を抑えることは非常にむずかしい。何時ストライキが起るかかわらない。もしわれわれに自動車の使用を許し、食料や酒の特配を行ひ、その他の特典を賜へるならば、従業員たちを抑えるために働かしよう。またもし月に二万円提供するならば、あなたの工場に絶対にストライキが起らぬことを保証してあげよう」債主はこの話のいかにも知れない。従業員はもろもろこういふ取引があつたとは知らないし、実際にはストライキの話をきかぬ

たかも知れない。

さらにもう一つのやり方は、組合の入会金をうんと高くしてこれを拂わぬ新規な労働者には、就職の機会を與えないようにすることである。組合を食物にする幹部たちはいつて会計報告を發表しないから、この余分の金の大部分はかれらのポケットにはいつてしまふ。

なお別な方法はダラカンが自分の仲間を組合の幹部にドシドシ入れて、幹部の実権をにぎつた上で、この幹部の決議で「組合大衆にたいする献身的な奉仕の報酬として」多額の金をかれに贈る方法である。かれはあとで仲間と報酬を叩い、いすれば料理屋などで祝宴を開くといふ取組である。

かれらが大きな組合の支配権をにぎつた場合には、その収入はいよいよ大きくなる。罰金制度を設けたり、入会金をとつたり、組合費を増額したり、勝手なことをやる。そして組合員にねじこまれると、暴力団の助問となつて、おどかしたり、なぐつたりする。

### 組合ボス

組合員の一層高い段階になると、組合ボス主義になる。こうなると、幹部はまったく会社のために働くことになる。こんな不正な幹部にきつて表向きはやたらにモクラシーを叫ぶが、組合員はなから選挙とか会計報告の公表の問題が起ると、たちまち沈黙して余計なことを言はなければよかつたと思えるのが常である。

ある工場で従業員自身の労働組合が生まれそうな形勢になると、債主はいつそこの種の組合ボスを助けて、内々で労働契約を結ぼうともちかけることがよくある。こうして一般組合大衆たちが何も知らない間に、ボスは勝手に悪い条件で契約に署名してしまふ。そして組合員たちはいつの間にか組合に所属してゐることを、あとで知らされる。

彼等は入会金をとられ、組合費を拂わされた上、組合ボスの命令に従わなければならぬ。もし彼等が命令に従わない場合は、ボスは「自分勝手の手帳モクラシー」を實現するために暴力団を派遣する。このよりの秘密で閉じられた契約は、従業員が知らぬまゝ行われた意味で「裏口協約」(Backdoor Agreement) と呼ばれてゐる。

### 組合主義の曲解

ダラ幹や組合ボスが労働組合を食物にするのは、組合主義を全くの邪道に追いつもものである。組合はたゞ一人の男、または少数のグループの目的のために奉仕するだけである。その目的は二にも金、三にも金である。

組合大衆が黙つてゐるか、黙らざるを得ない場合には、このよりの状態は同年でも続く。民主的な会合は全然開かれず民主的な投票も行われず、組合は会費を拂う組合員の利益を代表する機能を果たすことが出来ない。

ダラ幹やボスが、ひとたびそういう制度をつくりあげてしまふと、なかなかおちこちむすことがむずかしい。しかしながら、もしこのよりの抑えつけられた組合の大衆が時をいつと團結して会計報告の公表を要求し、秘密投票

による選挙を要求するならば、この種のダラカンや組合ボスを倒すことが出来るかも知れない。

ダラ幹やボスと闘う一番よい武器は、かれらの正体を見破り彼等のやり口をのみこむことである。ひとたび従業員の大衆が、いかに彼等の組合モクラシーがじゆうりんされてゐるかを理解するに至つたならば、あまり時間がかからぬ内に組合をふたたび自分たちの手にとり戻して組合モクラシーを再建することが出来る。

### 権力めあての組合荒し

権力めあての組合荒しの弊害は、米國の例でいふと、通常いろいろの小さな政黨が自党の政治勢力を拡張するために地方の労働組合や全國的な組合の支配権をにぎる問題を含んでゐる。自分の権力行使するために労働組合を支配しようとするこの種の組合荒しの目的と手段を理解するために、以下簡単に一般的な観察を行つてみよう。

典型的な労働組合はいろいろ社会的見解や政治的見解を異にする人々から成りたつてゐる。民主的な組合では、組合のとりうとする運動なり方向なりは、かならず組合の大衆討論にかけられる。そして組合大衆の自由な討論をへたうえで、表決に付せられる。かくて最後の決定は大多数の意思を代表する。

すでに指摘したよりに、民主的な組織はとかく邪道に陥りやす。とつてゐるのは、少数のグループが組合の会議とは別に党派秘密会を開くのは組合に腐



増だし、そこで論議をたくらんで、その論議によって組合の会議を導くことがやさしいからである。とくに組合大衆がコーカスと呼ばれる党派秘密会の存在に全然気がつかない場合、この種の策謀はいつそう容易である。

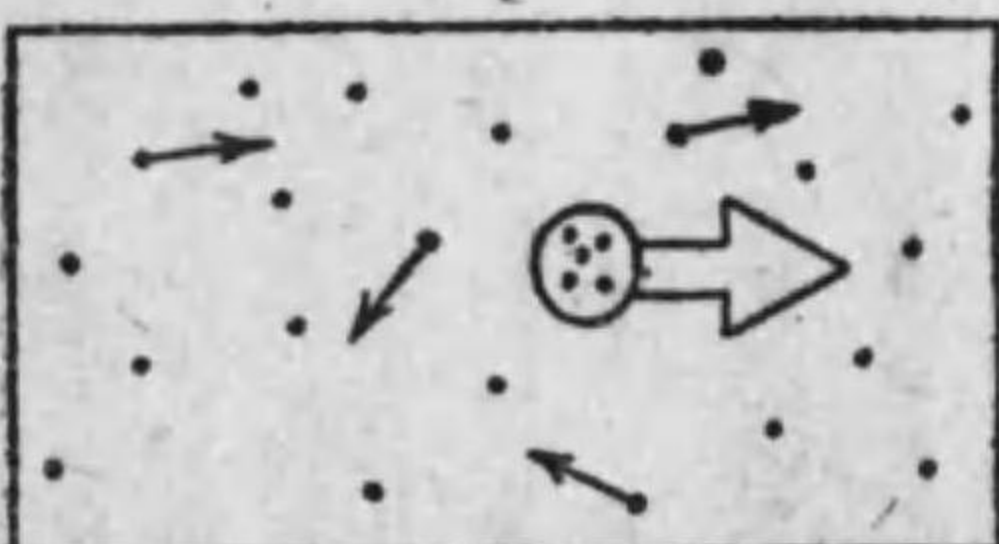
### 内部工作

ある政党がそのイデオロギーにもとずいて、ある計画を実行に移そうとしたとして、もし直接組合と呼びかけて、労働者にその計画の支持を求めても、大多数の労働者は反対するかも知れない。そこでその政党は非民主的手段で組合のなかにもぐりこみ、組合大衆の意思に反しても組合の動きを一定の方向にもつていこうとするにいたる。

党は先ずその工場の従業員で、党内忠実な分子をもつて小さなコーカス、すなわち細胞を組織する。この細胞はしばしば秘密裡に会合して、組合の会合がある前には、かならず打合せを行い、会合での発言、行動、職務などについてそれぞれ仕事の分担をきめる。

かくて会合が開かれると、普通の組合員は民主的な組合討論に参加するつもりでやってくるが、細胞、またはフラクションとよぶものが、この場中はあらかじめ決定されたプランにもとずいて、しきじきと起ちあがって演説をやり、組合の内部で政治的な力ラクリが動いてゐることをだれも気がつかない間に、会議を牛耳ってしまう。

細胞の一人が演説をする時、もう一人がこれを支持し、第三番目のメンバーが二人の演説にもとずいて動議を提出する。そして次のメンバーがこの問



題を提議にかけることを要求するといった順序である。

このようにして細胞は、矢つぎ早に行動すること、訓練されたグループが計画的に行動することによって、組合のなかで機械のように動き、会合はしばしばそのため牛耳られてしまう。

これを図解すると上図のようなかたちになる。点は組合員を現わす。会議の席上、組合員はそれぞれ自分の判断にもとずいて討論を行い、事前の打合せなしに思い思いに動く。これが民主的な組合主義である。

この種の会議では細胞がきまつた目的と方向をもつてゐるので、ちやうど機械を運轉するような具合に細胞が会議の動向をきめ、組合員をリードする。これは機械に支配された組合主義である。

第二図の場合には、外部のコーカスなどは全然なく、問題はすべて会議にかけられて、各人は自由に自分の考えをのべる。自由に等々と討論が行われ、提議にかけた結果は組合員のため考えたあげへの意思を現わしている。

第三図では、細胞が一定の方向と、あらかじめ

計画された目的をもつて活動してゐる。機械のよきな正確さと機械に動くことによつて、このよきな細胞は会議全体を思う方向に引揚つて行くことが出来る。

組合を牛耳るという政党が、組合乗取りのため第一に着手する工作は以上のよきなものである。次の工作は多くの場合組合の会議をサポーターにするのである。会議の席上、余り多くの組合員が集つてゐるならば、どうしても組合手モクラーシが優勢になつて、それでは細胞が組合を乗取ることが不可能なるからである。

### サポータージユ

このよきなわけで、細胞はコーカスの席上、次の組合の会議をサポータージユする用意をせよといふのである。

会議の席上、細胞の各メンバーは一人一人起つて、さして重要な問題についてなが々と演説をやる。また細胞と関係のない組合員が演説した場合には、細胞のメンバーが次に起つて、彼の演説したことを一つ一つ取上げて賛成したり、反ばくしたりする。目的はたゞ時間をひきよめておくことにあるのは勿論である。

組合員たちは演説がしつとくあつた、何時間も議論させられるので、しまつたには退屈してあぐらが出る。一部の組合員は会議を抜けだして家に帰るしつとく。

会議は五時間、大時間ながたつて、組合演説のあぐらぐらつと閉会とな

る。そして組合員のたれかれはお互にこうつとややく。「もう一度こんなははかしの会議があれば、私は出席しないであらう。」

細胞は次の会議でも同じ作戦に出る。またその次の会議でも同じことを繰り返す。つらには表面目な組合員たちは組合の会合が長たらしいのと、ははかしののびにアインツつかしてしまふ。そして政治的な機関が組合を乗取るつとてゐるなどとは思わないうで、組合の会合に出席しなくなつてしまふ。こうして次の選挙の時期がくるまでには、組合の会合に出席するものは、細胞のメンバーか、さもなくば彼等に同情する連中だけになつてしまふ。そしてかれらの勝手な指名でこの手続の選挙が行われる。

つたん組合を乗取つた細胞は、かれらの所属する政治團體に組合の基金を献納することを、投票できるなどは、さうさもないことだ。小さな政党はこうして一見民主的な方法で資金をあつめることができる。また細胞が組合の新聞に手を出すやう、いふくもなくその新聞は政党の御用新聞になりさがつてしまふ。このようにして組合は徐々に、しかし確実に「政党のからいらになつてしまふ。細胞は民主主義を破壊することによつて、つらに支配權をうばつてしまつた。少数のグループが組合大衆をアゴで指図するといふ、組合に対する全体主義的な支配が、かれらの手でここに確立されたわけである。

### 全体主義的支配

このよきな細胞は、あたかも先づのべたダラカンだが、自分たちの利益



的な目的のために組合を食物にしたのと同じやり方で、組合を支配するものである。もし組合員が、組合は独裁者たちの思うままになつてゐると、ねぢ込んだりする場合に、家に帰る途中で腹われて手痛い目にあうかも知れない。又川のなかに降り込まれるかも知れない。ほかの組合員たちも、そんな話を聞いたり思ったりすれば、組合費だけは納つて黙つてゐる方が間違ひなうまいからと、さう考へてしまふ。

また会議に出席し、細胞を向うにまわして反対攻撃をしようとするものがあるが、たまたま細胞からひびく中傷される。あつてもないことを飾りまわされる結果、ほかの組合員たちもしまいに、かれらが組合に反対であるとか、信用組合の一味であるとかいふ話を信するようになる。かれらは政治的に閉居した労働者だとか反動とか、そのほか細胞たちの非民主主義的目的に都合のいい勝手な名前をつけられる。こうして組合は、ちやうど人形芝居の操り人形と同じように、政治細胞のせいになつてしまふ。もちろんストライキは起るかも知れない。しかしそれは労働者の正当な要求を実現するためにストライキを起すのではない。細胞の所屬してゐる政党の政治目的を促進するためにストライキが娯楽である、と細胞自身がきめるか、上から指令されて起るのである。

反対に、労働者の正当な要求を要求するために、どうしてもストライキを起すことを必要とする場合でも、細胞の指導者は、いまストライキを起すことは当面の政治目標に合わないからストライキを許さない。

このやうな非民主主義的統制と、上層部から各細胞に課せられた鉄の規律の間に、米國の一部の労働組合は時として外部の政治團體に指導されたことがあつた。しかしかれらの目的は組合大衆の利益に反するものであり、ひとたびこれを組合の内部で潰えつけないと成功したあかつきには、かならず組合モクラーシは破壊されて、巧みに組織された少数のものが、組合全盛をかれら自身の特殊な政治目的に向つて、足並を揃えさせることが出来るようになる。このやうにして一部米國の労働組合では、組合大衆が組合運動と關係のない外部の政治的な指導者や労働組合の諸原則に代わられたことが一時は自分の支配権を失つたことがあつた。

### 統制手段

非民主的な少数の細胞組織によつて労働組合を支配する方法は色々ある。一つの方法は第一に組合規約のなかに一項を添けて、組合の指導者が「組合の平和と秩序を乱したり、組合の命令を妨害する」ものを除名することが出来るやうにして置くことである。事実、公正な裁判にあかけられず、また組合の上層機関に訴へる機会も與えられずに、民主的な組合員が全体主義的なやり方に反対したために、しばしば組合を除名されて職を失つてゐる。これはしばしば非民主的な少数分子が、このような組合規約の修項を適用した結果である。

ある場合には共産党に反対のダラカンが共産党の組合員を不当に除名したことがあり、また他の場合には、共産党のダラカンが反共分子を不当に除名

### 中央集権的統制

地方の一組合内に非民主的な少数支配が行われることは、それだけでも大きなことに違ひないが、このようなことが各地の組合内に同時に起るとか、各種の全國的な組合の内部に二者に起る場合には、細胞活動の意義はいつぞう重大になる。

このような場合には、全國的な組合や地方的な組合グループの政策は、各組合の一般組合大衆によつて定められず、組合員の主要構成分子でない所の、一部の政治的指導者によつて決定されることになる。

全体主義的な支配という、このような非民主的な組織のもつては、中心となる政治的指導者が特定の政党のイデオロギーを履踏させて、組合運動のプランをつくりあげるが、それはたゞその政党の本来的目的と、当面の目標をおし進めるのがねらいである。

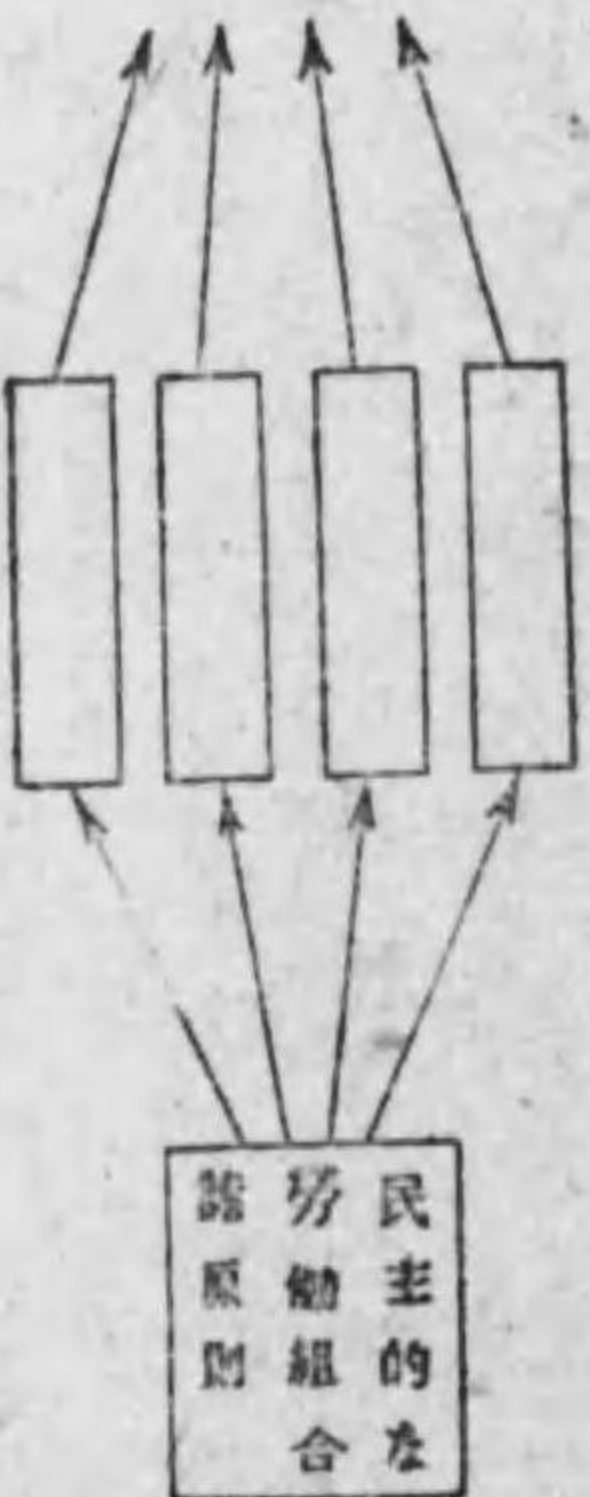
これらのプランはまず、それぞれの全國組合や地方組合に送りこんでゐる細胞の指導者たちに傳えられる。まもなく各細胞はいつせいに動きだし、組合の幹部会や組合委員会働きかけて組合大衆に一定の政策なり計画なりを採用させるやうに仕向ける。

もちろんこのプランなり計画なりが中央部から指令されたものだといふよりは、たゞおたくにださない。それどころかこれらのプランは組合主義をおし進め、「自由」と「民主主義」を促進するものとして、組合のなかへ「自發生由」になさめあつたかのやうに見せかけられる。

### 傳導ヘルト

したことがあつたか、けつして正しきやり方ではない。

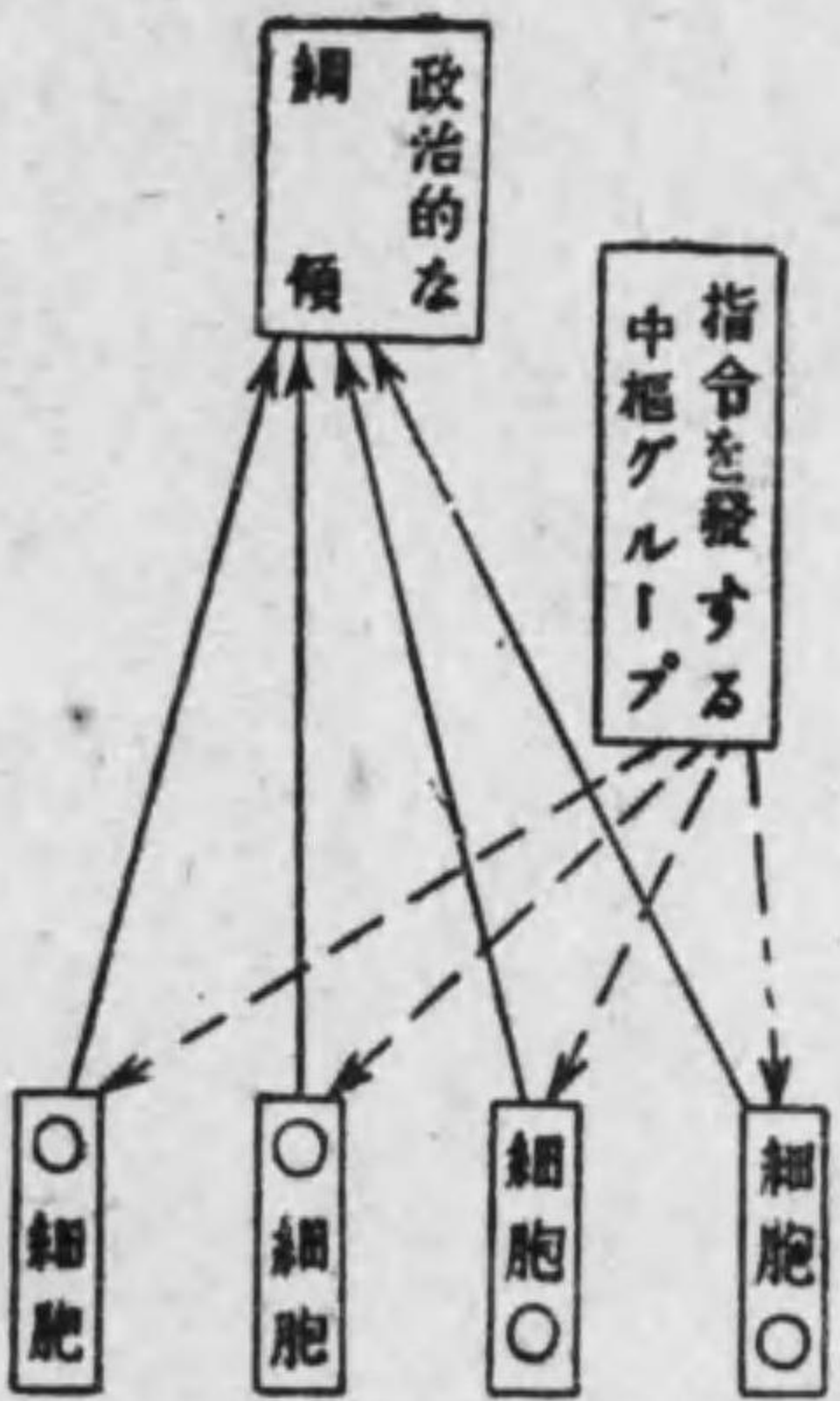
次の図表は民主的な労働組合の諸原則の基礎をたつてゐる。民主的労働組合方法によつて、運営されてゐる四つの労働組合の場合である。この場合、各組合は特殊な組合の問題が起つてくると、それぞれ独自の態度を決定して組合の政策を実行に移すにあつて思ひ思ひの方向をとる。各組合の組合員は労働組合の諸原則にもとづいて、それぞれ独自の政策の決定である。



これが次の図表になると非協同にかつてくる。

ここでは、組合の外部にある中核グループから、組合内の各細胞の活動に對して、指令が箱せられる。事前の打合せで、組合をたぐひに指導すること





つまり、組合は結局ある政治団体の綱領の線にそつて綱領を採用するに  
た。

つまり、組合自身は、組合が労働運動と直接関係のない組織の指令を  
受けて動くのである。

労働組合運動をたぐひて、これを組合の外部から牛耳り、ならしはこれに  
固い影響力をばはすもう一つの方法は、「傳導ヘルト」法を使用すること  
である。

かりに組合を一つの機械にとらえて、大きな機械を動かしてゐる運動機に  
して考えてみよう。このモーターはその動力を成動力源からうけてゐる。  
モーターが動けば、モーターと組合を結合ヘルトも動き、それについて組合

とつて動くも組織する。

この場合、動力源、モーターをばヘルトが全部見えれば、組合とつて機  
械として理解するかどうか理くも十分納得がいくわけである。

しかし、もし動力源とモーターとがそれぞれ別の場所にある場合には、見え  
るのはたヘルトと機械だけで、動力源とモーターの型については全然知る  
よがない。モーターといつても、運動機もあれば風車もあり、ガソリン・  
エンジンもあれば水車もある。

もし細胞が直接組合のなかにもぐりこんで、内部工作で成功を収めること  
が難しいとわかつた場合には、組合を牛耳る別な方法として、しはは傳導  
ヘルトの方法が用いられる。

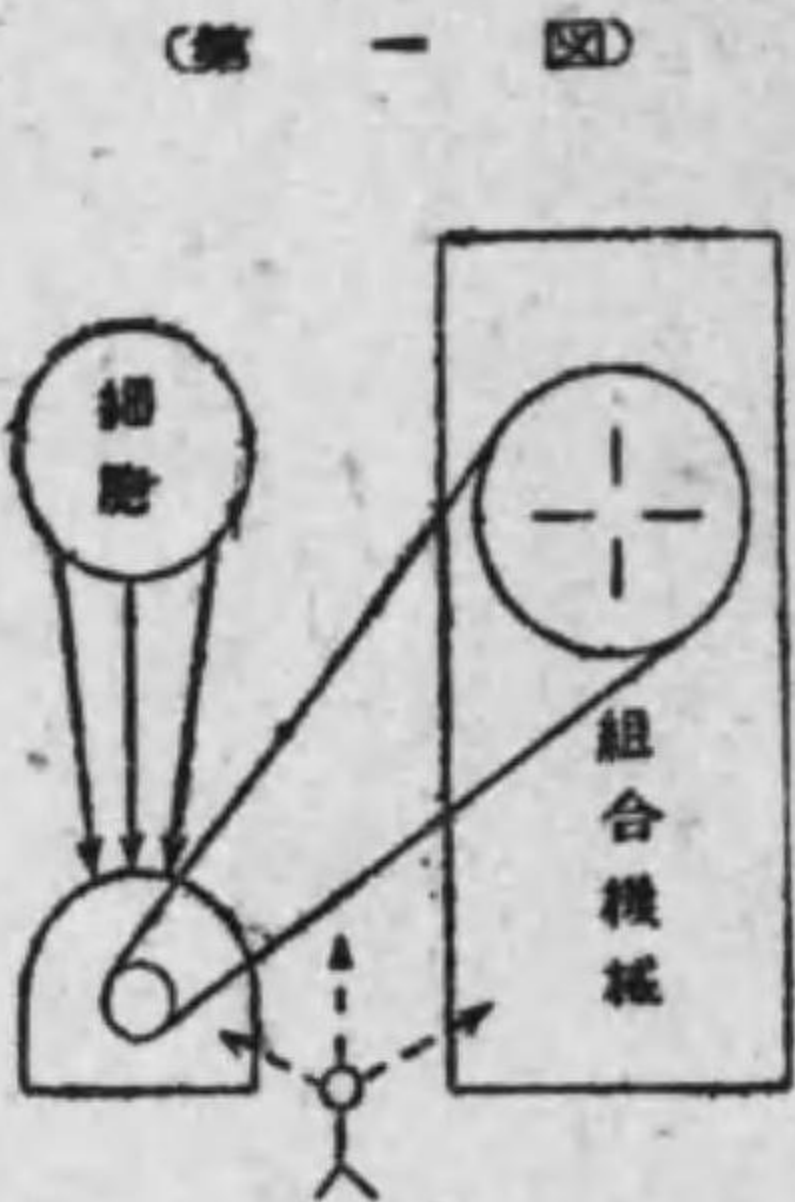
米國の労働運動の歴史にしてみると、この傳導ヘルトの役割を果すのは  
政治団体とか、労働運動を食動にする特殊な勢力がつくりあげて、小さな組  
織であるのが普通である。

この傳導ヘルトの任務をおびた組織は、しはは非合法でもつてもつてい  
るをもつてゐる。たとえば「労働組合会」とか「衣食住の自由連帯運動」と  
か「平和連帯」「反動連帯」「民衆々々連帯」とかといつて具合である。また  
傳導紙を発行して労働組合に多大の関心を示すこともある。ストライキを支  
持したり、そのほか組合のあらゆる運動に支援を與える。

組合員はこの傳導ヘルト組織から出るいろいろな宣傳の洪水に田舎り。そ  
してこれらの宣傳文を讀むにつれて、だんだんこつ考へるやうになる。なる  
ほど。この組織はわれわれの組合の友だ。なかなかいいことだ。みんな

ついでに支持しなければならぬ」

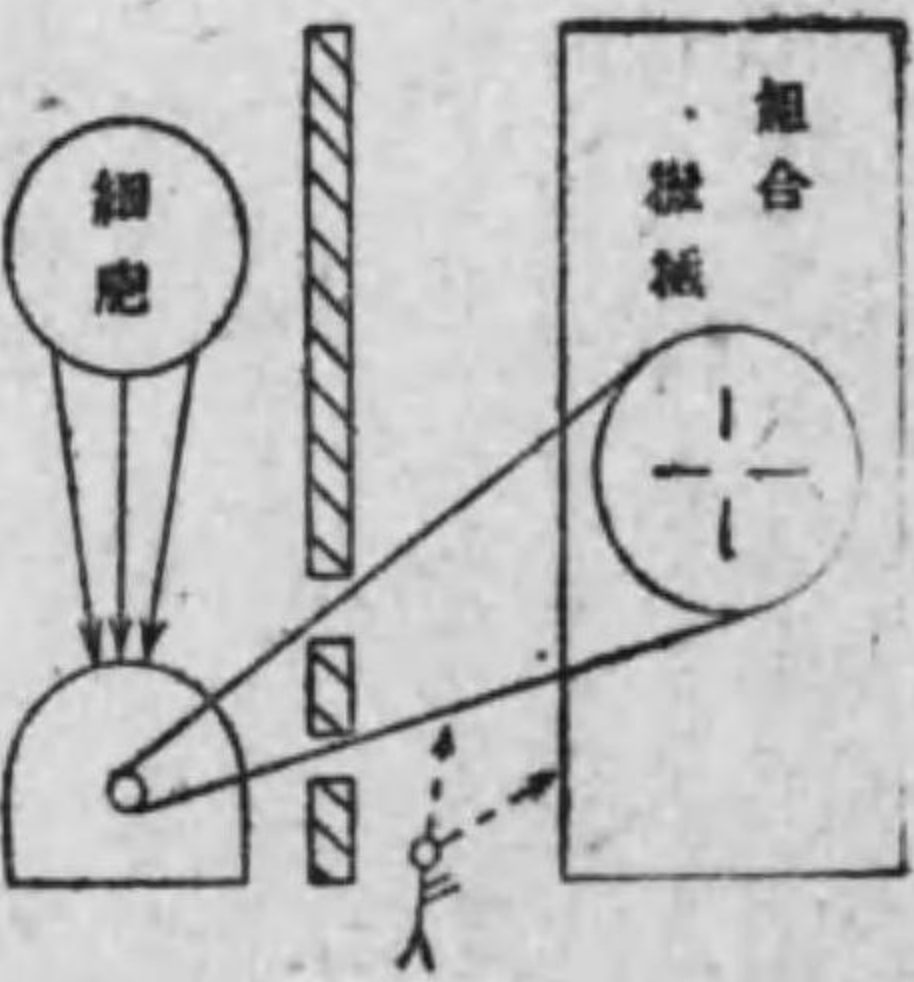
以上述べたこととをもちて組織をせつて図解すると次のやうになる。



第一図の場合、組合員は動力源も、モーターも、ヘルトも、機械も、全  
部自分の眼で見ることが出来る。この場合は細胞も労働組合の諸原則からな  
りており、モーターは労働者の必要をこの諸原則を表現して回り、ヘルトは組  
合の民主的方法にほかならない。そして労働者はすべての構成を十分に理解  
してゐる。

たゞこの場合第二回である政治細胞は労働者の眼のまんなかにあつて見え  
てゐる。モーターも同じやうに隠されてしまふ。労働者はたヘルトの一  
部と機械だけしか見ることが出来ます。組合といふ機械を動かしてゐる全体の  
機構については知る由もなし。

第二図



このやうな仕組みは、全体の機構が秘密の政治細胞  
と細胞のモーターとによつて動かされてゐることを、細胞組織はいつして組  
合員に知らせないことである。

政治細胞組織がある政治的な政策を決定すると傳導ヘルト組織はたゞそ  
活動を開始し、組合にむけてついでにその政策の支持を求めると。たとへば職  
金を求めるとする。すると組合は細胞のいふことを頭から聞いて献金をた  
なら「友好」関係を支持する。そしてそれが實際その金を受取るかについて  
は最後まで何も知らない。

おなじやうなやり方で、傳導ヘルト組織は労働組合の諸原則をばはつて  
各目で労働者を開導することが出来る。そして教師をはじめ女医、数科  
員などを提供し、助ける意味で組合からあつたばかりの金をとつたりす  
る。米國に於ける組合はもつてこの種の機構を歓迎し、組合員をたつて



入をすすめたことである。しかしやがてこの労働者はめだたぬように少くも、組合主義と政治上の主張とを混同させ、向時の間に組合員をいままでの誠実な組合員から偽造ベルト組織の信者へとくらがえさせてしまふ。こうしてまづ十分な組合員を獲得したうえで、政治細胞ははじめて表面に顔を出して組合を乗取つてしまふ。

いちばん肝心な点は、このような偽れた偽造ベルト組織は本質的に不正な点にある。かれらが口であることをしやべるとき、その目的は、かたはかれらの目的はたゞ一つ、非民主的な方法によつて組合を乗取り、これを牛耳ることである。米國の経験が示すところによると、偽造ベルト組織はその正体がパクロされると、みづからその組織を解体することがしばしばあつた。正体がパクロされるとこの種の組織の政治的効用はなくなつてしまふからである。そして一部のメンバーは、新しい「中立的」人物（シンパ）よばれることも、新しい組織をつくり、新しい事務所を設ける。看板もかえて「文化連盟」とか「平和連盟」とかになるだらう。

しかし米國の世なれた、かきこい組合主義者は、このよきな看板をかえただけで、中味の少しもかわらぬ「新しい組織」の正体を、すぐ見破つてしまふ。政治細胞のモーターを労働者の眼のどまかぬところ（隠して、労働組合を外部から操縦しようとする偽造ベルト組織、この点では事実少しもかわらぬところ）は、

### 支配のかんどう

各にかくれて、組合自体を細胞の毒する政治的イデオロギーの代弁機関にするなほのたしてしまふ。その結果、米國で事起つた事実であるが、各組合支部は組合員の大部分が共産主義者でないのに、組合本部は共産党の細胞が実権をにぎり、しかもかれらのうち組合大衆によつて選挙されたものはほとんどいづれも珍奇な現象が起つた。

地方の組合にあつても、これらの非民主的政治細胞タラカンたちはめつて「職場代表」とか組合長とかになるうとしなう。かえつて組合の権限を望んだり、教育部門の担当者とか、組合の機関紙や会報の担当者になりたがる。こゝでも、かれらの目的は組合の幹部を厚くまをこめて擁護して、組合の資金で組合員のためだけに廣く宣傳するの一点である。

### 赤呼ばわり

赤呼ばわり (Red Baiting) については米國の組合運動はひじょうに西の経験をもつてゐる。レッド・メイテイングとは、ひと口でいえば、共産主義者でないものを共産主義者と呼ぶことである。また共産主義的でもなんでもない計画や政策に、共産主義のレンゲルをはかることである。多くの儲け主たちは従業員をおどかすために、よくこの手をつかつて従業員の指導者たちは共産主義者であると攻撃したものである。従業員たちは、かれらの指導者が共産主義者でないことをよく知つてゐるので、ふんがいてこれをレッド・メイテイングと名づけた。米國の組合主義者たちは、どんな形の「赤呼ばわり」をも、よつて非難にこれを受ける。

このさい、よく一瞥しておきたいのは、米國では共産党によつて特別がい経験をもちつてゐることである。労働組合のなかで細胞として活動してゐる党員は、きまつて自分が党員であることを否定する。時として組合大衆をきまんするために、米國の共産主義者は公然と共産党を攻撃したことさえある。

米國の共産主義者はめつたに全國的組合の会長の椅子をねらわぬ。かれらの考えでは、ほかの方法で組合を牛耳る方がやさしくもあり、都合がよかりである。

米國の経験によれば、この種の反民主的な、少数のタラカンたちは、組合幹部のなかから、組合にたいする誠意は十分あるが周囲のために判断を誤つたよきな人物をえらんで、名義だけの会長に押し立てる。細胞の各メンバーはまず組合員のおいだを駆けまわつて、かれの人物をふいぢようする。そして「目目」おりが会長に選挙されたとき、報酬としてかれらが求めるところ、組合を操るうえに必要な二、三の地位にすぎない。すなわち教育部長、宣傳部長、政治活動部長、法務部長といつたよきな組合幹部の地位である。

ひとたび組合役員はなかにメンバーを割込みまはさることに成功すると、細胞は組合の役員会にたいして強い圧力を加えることが出来るよきになり、細胞またはフラクションの政策に従つて役員たちをリードするにいたる。さうして組合の機関紙や教育組織の実権をにぎるよきになると、細胞の政治的主張を組織的に宣傳することも出来るよきになる。こうして進歩的な組合主義の興

ところが、共産主義者が組合運動のなかで活動する場合はこのほかけたすい手を並用する。すなはち共産主義者がその正体をパクロされると、かれはよつてこれを否定して、道にほかの男を「赤呼ばわりする野郎」となす非難する。こうして問題をこんがらせ、身をかむすことによつて——これを米國の労働者はひきよるか非民主的なやり方だと考へるが、これによつて共産主義者は自分の身を助けることができる。事実をたつた「赤呼ばわり」の非難をぬきまはさるこゝによつて、多くの実際の共産主義者が自分の身を守り、その後も組合の実権をにぎることに成功した。

### 一般戦術

米國では、政治細胞はその時々の情勢で、いろいろその政策をかえた。あるときは、米國の共産主義者たちはAFLに参加することを拒んだ。AFLを牛耳ることほどつてい難しいことをかれら自身よく知つてゐたからである。そのかわり、共産主義者たちは独自の組合を組織することにきめ、米國労働者の支持をえようと努めた。この計画が失敗におわる、強対的な組合制度を放棄して、こんどは既にある組合や新しく出来た組合のなかで共産主義者たちをめぐりこませる政策をとつたが、これはわり成功した。

戦術の変更、政策の変更、そして組合潜入の闘争は、なが年にわたつて労働運動の各党内に混乱と騒動をまきおこした。(米國の労働組合の力はそのためにすくなからぬダメージをよきなくされた。民主的な組合主義者は多くの時間と勢力をギセイにして、この少数のグループと闘わねばならなかつたわけ



この豊富な時間と勢力はそんなことさえなかつたならば、もっと有効に用ひしかりして労働組合運動を作るために使うことができたであらう。米國の労働組合に於いては、政治的ダラカ／＼たるは三つの活動方法をたじた。

第一に、細胞はできるならば公然と組合の実権をにぎつて、これを支配しようとする。この方法は米國のおもな労働団体では一度も実行されなかつた。

第二に、細胞は情報にくりり人物をか、日和見的な人物を支持しようとする。かれらをかきりとして表面に押し立てながら、背後で細胞が組合をおさえるわけである。

第三にかれらの実力がひじやりに強い場合には、細胞は「統合」とか「統一運動」の運動をすすめて、できるだけ多くのメンバーを組合役員の名かたに押しこませる。こうして細胞はかく／＼組合役員のおいだに勢力をはつて、時期をみて組合を乗取る機会をねらふ。

### 細胞活動の要約

細胞は非民主的、反民主的な少数のグループとして活動し、そのねらいは「権力あつての組合荒し」の方法によつて、そのモクロミを組合大衆に押しつけるにある。細胞活動がめざすところはいろいろある。

イ、細胞は政治的な企図をもつたいろいろな決議を組合に提出する。これらの決議は必ずしも組合の政策を細胞の政治目的に適合するように仕

向けることに役立つものである。

ロ、細胞はあらゆる機会を利用して、組合の共金や各種の利便を、宣傳そのための自分自身の目的のために使おうとする。

ハ、細胞は選挙に際し、組合の力を利用して、自分の属する政党の候補者を労働者に支持させようとする。

ニ、細胞はストライキその他の労働者の武器を、自分の政治的なモクロミの二部に利用する。すなわちある時は、階級闘争を激化させるためにストライキをおこなうことがある。と思つた一年後には、階級間の協力を促進するためにストライキをやめぬという約束をさせようとする。

ホ、細胞はそのメンバーの勢にむくいるため、組合の有給役員地位を利用する。このような地位はさらに細胞のメンバーにいつそ活潑な政治活動の機会をあたえる。

ヘ、細胞はその政策に従ひ組合幹部や、その時その時で支持を約束する組合幹部の操作をする。組合大衆を土台として、眞の組合デモクラシーのために闘う幹部は出来るならば追いつてしまふ。

ト、細胞は人を中傷する技術が掌に入つてゐる。かれらの仲間には「偉大な指導者」であり、かれらの敵や細胞が利用すべき人物は「反動分子」とか「政治的ダラカ／＼」のラケ印をおさる。

### 敵対的ダラカ／＼

体主義的な政略に於いては全く無知だったが、現在は少数支配の危険に充分察してゐる。是派闘争のますあは、その後もなお組合の内部にのこつて来たかのである。

このほかにも少数支配を大多数に置換しようとする政治細胞間の内部闘争の結果、多くの米國の労働組合が分裂した。こうして今日の米國は、普通組合主義者でも組合内における政治細胞の役割をよく理解するに足つたばかりでなく、このような細胞活動を極端に嫌うようになった。今日の米國の労働組合大衆は、自分で組合を運営することを主張してゐる。

### 御用組合(か)いびい組合

組合荒しのいびい御用組合、会社側の支配する組合、いわゆる御用組合である。この種の組合は金銀あつての組合荒しや、権力あつての牛耳る組合といひ、大抵にやぶらぐてゐる。

御用組合は米國の労働史上にもはやくから現れており、ワグナー法でこれが禁止されるまで続いた。

御用組合はつう／＼の工場にかきられた組合で、誰い主またはその代弁者が直接間接にこれを支配してゐる。団体協約はできたばかりだが、協約にきり、従業員のおん／＼はよくわすかしく受けられぬ。その半面組合の支配はまじく全体主義的である。会社側は普通組合のために事務所を提供し、会社のお請ひ労働士を組合の顧問にする。組合費はひび／＼に安く組合の機関紙まで世話をすることがある。

米國の労働運動には、たがいに対立する政治的分派や細胞がいろいろな労働組合の実権をにぎらうとして、シンギをけすつた例にみられる。強固にして責任ある労働組合を建設することなどはそのつものけにして、対立する細胞はしばしば組合の会合を妨害し、ストライキにハマをやつたり、失敗したりした。組合デモクラシーは半身ブズイになり、組合は窮道におちた。組合大衆は組合主義にアインをつかして、ついに組合の会合に出席するのをこぼすやうになつた。

一九三九年のはじめ、あるおきな米國の労働組合が、組合運動の外部から指をうつけた細胞に乘取られたことがある。このことがやがて、相対立する政治的フラクションが組合の実権をにぎらうとして闘ひ出した。このため組合の幹部は二つに割れ、組合大衆ははてしのない内部の政治闘争にアインをつかしてしまつた。組合員の数はわずか大カ月のあつたに四十万から四万以下に減つてしまつた。それから一年のうちに、國家的組合にもみままつた健全な分子が政治細胞を地下に迫りやつたので、組合に復帰するものがたくさん多くなり、ふたたび組合費を納りよらになつた。しかしながらこの政治的党派主義のために、組合員は数十万ドルの組合基金をムダすかひし、組合大衆の多くはすつかりゲンメンを感じさせられた。

一九四二年末までは、この國家的組合もむかしの組合員数をとりもどして、組合員はさらに百万に増加した。

この分裂した政治細胞ははじめ百人前後のメンバーからなりたつており、しばらくの間組合をメチャメチャにしてしまつた。組合員はその時まで、全







## 二・一ゼネスト中止に關する

### マツクアーサー元帥の聲明書

本邦労働運動史上特筆すべき全国官公團労働組合のゼネストは二月一日を期して敗行の直前、マツクアーサー元帥の親心に満ちた禁止命令により全国にわたる破局的な混乱を幸うして阻止することが出来た。このマツクアーサー

元帥の声明は以上のごとく歴史的意義を有するのみでなく、行き過ぎた労働闘争に対する警告であり且つ労働運動の行くべき一つの指針であると認められるので、ここに再録することにした。

連合軍最高司令官として余に既された権限にもとずき、余はゼネストを実行せんとする労働組合の指導者に対し、現下のごとく望みあえぎ懸望した日本の実状においてかゝる致命的な社会武器に訴えることを許さない旨を通告しかゝる行動をとらざるよう指令した。余はこゝろした問題でかゝる程度まで干渉しなければならぬことを最も遺憾とする。余がこゝろした禁に出たのは公共の福祉がいちじるしく脅かされるような致命的な衝撃を避けようとしたがためにほかならない。

現在、日本は敗戦國として、連合軍の占領下にある。日本の都市は常に閉鎖し、産業はほとんど停止状態にあり、國民の大部分は飢饉をよろよく逃れている実状である。輸送と通信を不良状態にするゼネストは國民を養う食糧と基礎的な公共事業の維持に必要な石炭の移動を困難ならしめ、現に運輸中の産業を停止せしめるであらう。これによつて必然的に生ずるマヒ状態は、日本國民の大多数を飢饉状態におとし、その社会的階層のいかに問はず、またこの基本的な問題に直

接の關係あるなしにかゝらず、あらゆる日本國民の家庭に於るべき結果を生ずるのであらう。

現在では米國民は日本の飢饉状態を救うためにその乏しい食糧の中から多量の食糧資源を放出している。このゼネストに關係のある人々は日本國民の極く少数にすぎない。しかもこの少数の人々は、つい最近の過去において、少数の人々が日本を戦争の惨禍に導いたために生じたと同じような状態に、大多数の人々をおとしこむこととなるかも知れない。このことはいひては日本國民を少数派によつて飢饉におしつけられた運命のまゝに任せるか、あるいは生活維持に必要な食糧その他の供給物資を、自らの限られた資源を犠牲にして、必要以上

無限に日本に輸入して、この事態から生ずる結果を收拾するかどうかの不幸な決定を、連合軍に押しつけることとなるであらう。こゝろは事關のものにおいて、余がこれ以上の負担を連合國民に要求することとは不可能である。余はこの措置を緊急やむを得ぬものとしてつたがこれ以外には、今日まで正当な目的達成のため、労働階級に與えられた行動の自由を制限する意図はない。またこの問題に關係ある基本的な社会上の問題に対して、妥協したり影響をおよぼしたりする考えもない。これらは日本が現在の悲惨な状態から次第に立ち上るにつれて社会的な改善を起すことなしに、時と状況が方向を示してくれる進化の問題である。



# 米國の労働組合運動、特に地方組合の構造

連合軍総司令部経済科学局  
労働課労働教育班長  
リチャード・デウエラル氏講演

(一九四七年五月六日・放送会録)

AFL、CIO及鉄道友愛会は同じ基幹的構造の上に立つており、米國の労働組合の権威の根源は一般組合員にある。地方組合は全國の唯一職業組合(クラフト・ユニオン)又は職業別組織組合(インダストリアル・ユニオン)として組織され、それらが連合してCIO、AFL及び鉄道友愛会即ち上部機構を形成し、これら上部機構は全國労働組合間の連繫と協力を旨として

いるのである。上部機構は全國組合の結果として生れたものであり、通常すればAFL、CIO、鉄道友愛会の年次大会で決された一般政策の枠内で全國組合は自己の政策を決定するのである。

## 全國労働組合

全國労働組合は率仕的、組織的、指導的單位で、組織化された一般組合員

への率仕並に新組合結成のために地方組合が送り出したものであり、一般組合員の代弁者、地方組合の全國的代議として行動するよう指合されている。

全國組合は年次大会を通して一般組合員に統制され又一般組合員に対し責任をとり、同時に組合員の行動の爲の新政策を提案する。

全國組合本部は役員、指導員、各部門の専門家、書記、技術者などからなる大規模なもので、各全國組合は宣傳局、教育局、調査局、法律局、組織局、保衛局、其他組合の事情に應じた局がある。

○宣傳局——全國組合の機關紙を発行し、海外關係を担当する。地方組合が爭議の場合、新聞及社会に対する声明に關して地方組合を援助する。

○調査局——契約、団体交渉、賃金、労働時間、生活費等の重要問題を取扱ひ、地方組合に統計を提供し、契約交渉を援助し、全國組合政策の進捗に關

する調査を通じて地方組合を援助する。

○法律局——地方組合の法律事件、労働法の研究、組合員及地方組合の権利につき忠告を與へること等を担当し、あらゆる方法で労働法の発展並に各組合員の法的保護について全國及地方組合に率仕する。

○組織局——組織方面の経験者多数を有し、未だ組合を有せぬ工場を訪問し相談其他の手段を通じて組合結成に助力する。これは未組織労働者にとつて善いばかりでなく、附近の工場で既に組合が結成されている場合、労働者の賃金契約を保障することにもなる。

○教育局——廣汎な教育計画をたて、リーフレット、パンフレット、手引書、映画、紙芝居、ポスター等あらゆる手段により組合員の教育水準向上のため地方組合を援助し、同様の部門をも援助する。

米國の全國組合は地方組合の率仕者として発達したもので、政治家に仕事を與へるべく存在しているのではなく、全國組合の職員は地方組合の率仕者である。地方組合が法律上の忠告、教育、保健、調査報告其他の援助を要する時はその旨全國組合に要求すれば、役員が直接出向くか其他の方法により援助がなされる。全國組合は地方組合の率仕者といふことが肝要な点である。更に全國組合には地方組合が採決した規則実施の権限がある。即ち全國組合は地方組合の会計簿の検査、選挙違反の調査等地方組合のデモクラシー擁護のためあらゆる手段を講ず。全國組合は各方面の有能な経験者多数を有する故、地方組合に対し全國的な計画を提案し指導権を握るが、年次大会における地方組合代表たる一般組合員の多数決投票に常に服するのである。

## 総同盟及産別

さてAFL、CIO及鉄道友愛会のことを簡単に述べれば、調査局、教育局、法律局を有するが、全國組合の政策と同調しこれを援助する。それ故全國組合は上部機構の役員の影響を自然受けることになる。ストライキは全國組合により承認されるもので、決して上部機構により承認されるものでないことは注目すべきである。全國組合の場合と同しく産別或は総同盟は全國組合に率仕するため作られたことを注意すべきである。新しい全國組合が結成されたばかりで未だ團體の時は、上部機構は組織に財政其他に組合が充分張り立ち出来るまで援助する。上部機構は全國組合を援助し保護するが、政策上又實際上組織といふが如きことには行わない。

## 地方組合組織——民主主義の学校

地方組合は組合員に率仕し組合員の代表者として行動する。米國の経済、社会機構の特殊性にかんがみ、地方組合には管理職、工場内世話部、工場外世話部、教育調査部が置かれ、各部の機能は権限分立のため細分され、地方組合員を何等かの組合活動に參與させ、かくしてすべての組合員に偉大な強化をなすための組織が維持されるのである。以下各部の機能を述べれば

○管理職——は通常組合長、副組合長、書記、会計を有し、彼等は年に一度一般組合員により選挙される。委員会、理事会も同様選挙され、委員会は月例例会によつて組合の基本政策を決定する。理事会は組合乃至その基金に關



任を有する少数者で構成され、基金の支出を監督し、随時会計簿を検査する管理部門の目的は組合の全政策の履行にあり、書類の返事、記録、財政上の事務遂行及び地方組合機関紙発行のための職員を雇い入れる。

○工場内世話部——は別の組合員で構成されるが、最も重要なのは工場代表委員会で、その構成は工場代表委員長、代表委員で、日常の不平処理及契約(通常一年単位)の実施に關し責任を有する。他の工場内部の委員会は安全委員会、工場内の福祉、食糧問題其他は夫々の委員会て処理される

○工場外世話部——は工場外の労働者の生活に關係しており、このため顧問会が置かれて、労働者の職場外の問題解決に援助を與える。顧問会は問題を解決はしないが、解決の方法を指示する。例えば一人の婦人が夫を失つて、工場で働く時子供の面倒を見られない場合、顧問会が子供の養育場所について彼女に指示を與える等である。又労働者の傷害保険についても顧問会は適當な方法を教へ、一般組合員に適當な保険業者を教える。配給、食糧、其他工場外の問題も顧問会が処理する。

○教育調査部——は他の各部と密接に協力し、執行委員会を通じて一般組合員の監督下にあるものである。組合選挙の後に新役員が地方組合の教育主任を任命しよとする場合、執行委員会に要求する人名案を提出し、認可があつてから新教育委員会が集合して教育計画を樹立する。これは組合総会にも諮られ、認可があつて後教育調査委員会が年度の業務を行う。工場代表が團體契約について知識を求める時は教育調査部はこのため講習会を開き、契約委員会が労銀、利潤その他についての知識を求める時は教育調査委員会は

中央に書簡を送るか或は代表を附近の図書館に派遣して資料を求め、又工場外世話部委員が組合員の多くが新しい法律に何等の知識も有していないと報告する時は教育普及計画を立案する等である。

かく教育調査委員は計画を準備、遂行し、或は全國組合の教育局と地方組合員の間立つて活動するのである。

### 結 語

かく我が米國における労働組合運動は地方一般組合員の必要、欲求、希望、澤蘭等の基礎の上に立つ奉仕機関で、各組合役員、委員、地方組合、顧問等から上部機構の指導者に至るまで、一般組合員に奉仕するため地位を保持しているのである。

米國の組合運動は長期間に亘り、十九世紀末当時僅か数千人から今日は数百万の組合員を擁するまでに発展し、組合が一般組合員に奉仕すればする程組合員の数が増加してきたのである。

かく奉仕機能を有し、又組合員から賃銀を受けている役員が組合員に奉仕するものなる故に、米國の組合は「一般組合員のための組合」と言われ、又一般組合員が組合のあらゆる部門に關係して活躍してきたことは米國の民主主義発展伸張に多大の貢献をなしたものである。

## 資料 二

# 實情に即した日本の労働組合の發達へ

連合軍總司令部經濟科學局  
労働課 課長 シエームス・S・キレン氏談

爲保護並びに民主的平和日本建設のため組織的に參與する目的をもつて、労働組合の組織を奨励するべきである。

右の宣言は労働問題に対する最高司令官の政策を要約したもので、經濟科學局労働課もこの根本的原則に従つて政策を決定、行動を開始した。又昨冬マツカーサー元帥とAFL副会長マツシユー・ウォル氏の間で書簡が交換された結果、私がAFL代表として労働課顧問に就任のため來朝を要請されたわけである。

私は労働組合方面顧問として日本における自由な組合の構成、管理、運営に關する直接の問題並に健全にして民主的な組合運動の確立につき總司令部当局と酌議する。又日本の組合の代表とも個人的或は公的に會議して相互に自由な情報の交換が行われることを期待し希望するものである。

總司令部經濟科學局労働課顧問(その後課長に就任)として去る四月十三日來朝した國際パルプ礦業製紙友愛組合副会長シエームス・S・キレン氏は廿九日の記者会見において日本の労働組合運動に対する有効適切な忠告を與へ、組合は一般組合員により民主的に運営されるべきこと、個人の自由を認めること、組合の第一の機能は組合員の經濟的社會的地位の向上にあることを強調し、顧問として日本の組合運動向上のため援助を惜しまねつもりであると言つた。

一九四六年十二月六日極東委員会は日本の労働組合に対する原則を發表したが、その第一條に次の如く記してある。

日本の労働者は労働條件の維持向上、交渉の参加、正當な労働組合の利



さてAFL及びCIO系組合を含む米國の組合運動は百年の経緯を有し組合員の利益の爲に奮起しており、その間自由社会の大きな影響に左右され、自由國家の各種の活動における経済的、社会的、政治的方面での組合の役割に關して本格的な教訓を學んだのである。米國の組合は日本の組合の組織、生息期に於ては積極的援助を與へたといふの論議を持つてゐる。然し特に強調したいのは米國が決して日本の組合を形式的又は表面的に統制或は統制しようとする意圖を持つたのではないことだ。日本の労働者は自らの経済的社会的向上と社会の一員としての個人の尊嚴の理想實現のための合法的活動を行うたの自ら選んだ目的と方法によつて組合を組織する自由がある。

日本對面は米國の組合労働者と接觸してみよう。彼等は米國の組合の組織並に政策についての情報を懇心にあつてゐることが分つた。彼等はAFL及CIO系組合に對して、又組合内での政治活動に對して、又組合内の共産主義者の影響、組合員による組合の民主的統制の方法、経営者との対峙其他あらゆる組合活動について私に尋ねた。労働課の労働教育班は此等の問題に關する資料を準備中であるが、これら資料が日本の組合労働者にゆき渡つて充分に利用、研究出来るようになることを望む。又労働教育に對して日本政府の援助も要請されてゐる。

労働課として、米國の労働力資源に對する組合運動の進展のため所費を率直に述べたいと思ふが、同時に自由社会になつてくる運動を認め労働者の價値を無視するやうな問題に對しても同様率直に述べたい。

現在日本の労働者の直面する第一の問題は経済的なものらしい。即ち労働

並に購買力増加であるが、革命的イデオロギーは物質をも及購買力を提供するものではない。聖実な増産及健全な團體契約が労働者の生活水準向上のため第一に必要である。

更に日本の組合並に組合員は日本政府の経済的社会的政策に深甚な関心を有してゐるが、この関心は政府の労働問題に關する政策決定機關の中に発言権を増し、かゝる政策の遂行に參與することにより遂に表現される。政府を國民のあらゆる階層の代表者たらしめることば自由な民主的國家の常道である。組合が立法院にも有力な代表を送ることは國民のための経済的文化的利益増進の機關となることで、かくして労働運動は國民の福祉増進に積極的役割を果すことが出来る。

米國の労働者は歴々革命的イデオロギーのため政治的幻滅の狭小路に迫り込まれた。彼等は如何なる政體によつて玩弄されることをも頑強に拒否し、政治的獨立を主張する。米國の組合は経済的社会的改革の爲の立法を支持し、行動の自由を制限する立法を拒否するのである。又健全な組合運動は社会一般の福祉に對する責任を自覚することを要するのであるが、過去の歴史はこの政策の正しさを立証した。

私は労働課以來の根本原則に従つて労働關係班に發言するのである。その忠告とは

一、民主的にして離散たる労働關係の確立を推し、この意に關し政府機關及組合等すべての關係者に勧告と助言が與えられる。爭議解決のため健全且實際的な手続の進歩に重点が置かれ、解決は關係者の問題を充分に考慮し均等

な機会が與えられる。労働協約の締結及び経済安定、増産のためのその秘密な關係が強調され、現在の法律に依り爭議解決のための停業、閉鎖、仲調の機關の利用を奨励する。

二、日本政府の労働政策遂行のため能且民主的な人物養成を政府に促すことを奨励する。

### 資料 三

## 健全なる労働契約と調停委員会を活用

連合軍總司令部 経済科学局労働課顧問 ジョン・ポーランド師談

この連合司令部経済科学局労働課顧問として着任したジョン・ポーランド師は五月六日のGHQ記者團会見に於て労働問題に關し次の如き法見、人間的意見を發表した。

人間には絶対に他人の權利し得ない所の内面的生活と個性の尊嚴を持つてゐる。この個性の尊嚴は他人の利益、社会の善のために貢獻することによつて

三、労働關係班と労働教育班の間の密接な關係を保持する。一班は相互援助を行うものである。

米國と日本の労働關係は大いに異つてゐる。日本の労働問題取扱方法は單に米國模倣の模倣であつてはならず、日本の傳統に即して健全な基本政策がとり入れねばならぬ。

蘇聯されて始めて眞の尊嚴を持つもので人は如何なる職業を有しようとも社会の福祉のため働くべきその職業は價値を發揮する。日本の労働問題に關して私の言つたことは、人間の労働の尊嚴性は良き労働協約の作成維持に關するものである。即ち不当な生産停止を避け、あつせん仲調等を行つて合理的な不平等條項の明記が個人の内面的尊嚴性の損傷を最もよく避けるものである。ウィリアム・マクナマラは「我々は他から受



され、又他を認得し得る程度で文明を測ることが出来る」と言つた。争議解決の途も敢て議論でなく具体的事実を根拠として耐戦をつくすことである。日本の労働関係調整法は不平調整については適当であり、現在の脆弱な日本経済を破滅させる生産停止の危機を避けてゐる。労働調整法の基調は経済的平等の見地よりする論争、不平に關する論争の何れにもあれ、調停により無駄な骨折りとストライキを避けて問題解決に進もうという思想である。あつせん、仲裁、調停は適当に之を行使すれば結構であると思ふ。

争議の原因は契約の不履行、契約内容の相異、労働関係調整法違反等が挙げられるが、労資双方とも良き意思の妥協的精神、即ち生産と分配に關する公共利益の優先を認識し、互諒精神を發揮することが肝要である。日本には昔から家庭的問題解決に第三者の調停を依頼する習慣があるが、これが労働問題解決にも適用されれば利に結構なことと思ふ、今や全世界を駆け

て日本の行方を見まもつてゐるが、日本はこの際労働関係の調整に成功を収め好箇の標榜を示して欲しい。

因にポーランド博士の経歴を一瞥すれば、一九三三年全米労働関係調停員バッファロー支部長に就任、フーデイル会社の労働組合分裂を多数決主義を以て解決し名高を博し、一九三七年ニューヨーク州労働関係調停員に就任、一九四二年初在任、此の間二万件以上に及ぶ労働問題を処理した。

又一九四四年には競争激化計画参画のため歐洲に派遣されローマ、ロンドンに駐在、その管轄区域はイタリー、エチオプ、パレスチナ、ギリシヤ、ベルギー、オランダに及んだ。更に一九四六年ニューヨーク州知事デューイ氏の懇請に應じて同州の労働調停官となり又バッファロー労働大学の学長に就任した。

昭和廿二年六月十日印刷  
昭和廿二年六月十五日発行

定價 四圓  
送料 一圓二十圓

◇民主的労働組合運動◇

編集印刷 木村 孫八郎  
発行者

発行所 株式会社 日本通信社

東京都中央区日本橋室町三ノ一  
振替貯金口座 東京二〇〇九  
電話日本橋(24)一八五七六〇



Process 333  
Nats. Signalman

6.00  
12  
17.20

株式 日本通信社刊  
会社  
定價四圓

終